

年会・討論会の名称変更についての意見募集

日本放射化学会 理事会

今年もいよいよ残りわずかとなってしまいましたが、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、理事会では、日本放射化学会が主催する年会・討論会の名称の見直しについて議論して参りました。本年9月の総会において、名称の見直しを提案し多くの賛同を得たところではありますが、新名称についてはより多くの会員のご意見を参考に検討を続けることとなりました。つきましては、新名称についてのご意見・ご提案を募集します。また、今後の年会・討論会のあり方についてのご意見も合わせて募集しますので、忌憚のないご意見をお寄せください。

〔これまでの経緯〕

現在の年会・討論会の名称「20XX 日本放射化学会年会・第〇〇回放射化学討論会」は、年会と討論会を併記する形(いわゆるダブルネーム)となっています。これは、本会創設当初、歴史ある放射化学討論会の名称が消えるのは忍びなく、また学会の知名度がまだ低く、当面の間併記することとしたものです。その後、理事会で名称変更が度々検討されましたが、結論が出ないまま今日に至っております。

現在のダブルネームの状態は、長い名称がもたらす事務処理上の煩雑さだけでなく、2つの学術集会の同時開催と混同されるなどの問題を抱えております。今年度の理事会で議論を重ねた結果、学会創設20周年の節目を迎えるのを機に、ダブルネームを解消することとしました。本年9月の定期総会において、本会が主催する年会としての位置づけを明確にする会則変更を行った上で、ダブルネームを解消する名称の見直しを提案し、賛成多数で承認を得るに至っております。

〔新名称について〕

第86回理事会において、新名称の理事会案を一部修正し、「日本放射化学会第〇〇回討論会(20XX)」とすることに決定しました。第〇〇回はこれまでの討論会を継承します。西暦を付記するのは、過去の討論会を参照するとき開催年を分かりやすくするという配慮のためです。また、このような形式の名称はほかの幾つかの学会でも見られるものです。

〔今後の討論会運営の基本方針〕

討論会は、本会会則に定める学会が年会として行う主要事業であることから、これまでの放射化学討論会で行ってきた現地実行委員会（LOC）は主管としてこれまで通り自由度の高い討論会運営方式を継承しつつ、主催者である学会（理事会）も運営に加わり、支援をより一層充実させます。具体的には以下の点について明確にし、持続的な討論会運営に改善します。

- ・これまでどおり、登壇者、参加者、現地実行委員には非会員も認め、幅広い参加者による開かれた研究討論を継承する。
- ・理事会と LOC との連携を深め、これまでの財政面での支援に加えて、運営面での連携を強化します。
- ・若手優秀発表表彰は、学会として内容と審査基準を定め、若手研究者の研究を支援し発表力の向上を促すことにより若手研究者を育成します。

〔意見募集〕

次の項目について会員からの意見を募集します。回答は下記アドレスまでメールでお送りください。

①新しい討論会名称について

理事会案についての意見、他の名称の提案とその理由、等

②今後の討論会の運営方針について

これまでの放射化学討論会の優れているところ、今後も継承すべきところ、等

締切り： 2019年1月25日（金）

回答先：goiken2018@radiochem.org

問合せ担当者まで郵送していただいても構いません。

以上

○本件に関する問合せ先：

総務担当 北辻章浩

〒319-1195 茨城県那珂郡東海村白方2-4 JAEA 原子力科学研究所 原子力基礎工学研究センター 原子力化学ディビジョン 分析化学研究Gr

Tel. 029-282-5517